

「アングマン」諸島、「ニコバル」諸島、「クリスマス」島、「ソロモン」諸島、「ナウル」島、「オーシャン」島

其ノ五 浙贛作戰ニ關スル指導（出所ノ記憶）

四月十八日米軍飛行機ハ太平洋上ノ航空母艦ヨリ發進シテ第一回ノ内地空襲ヲ實施シタル後支那基地ニ著陸セリ
大本營ハ中支方面ノ麗水、贛州、玉山等ノ敵飛行場ヲ攻略シテ米軍ノ此ノ種企圖ヲ挫折セシムルニ決シ四月末頃支那派遣軍總司令官ニ成ルヘク速ニ作戰ヲ開始シ主トシテ浙江省方面ノ敵ヲ撃破シテ其ノ主要根據地ヲ覆滅スヘク命令セリ
本作戦ハ浙贛作戰ノ名稱ノ下ニ六月十日之ヲ開始セリ

第二章 南方第二段作戰ニ於ケル統帥（自昭和一七、一七、一七）

第一節 昭和十七年七月ヨリ十月ニ至ル間ノ指導

全般ノ戦況（出所：南東方面作戦記録）

本期間南方軍擔任地域方面ハ概ネ平穩ナル状態ヲ續ケタルモ敵ノ反攻ハ南東方面ニ現ハレ來リ其ノ壓力逐次強大トナレリ即チ八月七日有力ナル敵ノ一部ハ「ソロモン」島「ガダルカナル」島及「ツラギ」島ニ來襲シテ之ヲ占領セリ 第十七軍ハ「ガダルカナル」ノ奪回ヲ企圖シ八月二十日頃ヨリ一木支隊ハ川口支隊ヲ逐次同島ニ使用シテ飛行場ノ攻撃ニ任セシメタルモ共ニ大ナル損害ヲ蒙リテ成功セス九月十二日青葉支隊ヲ増加シテ攻撃ヲ再興セルモ再ヒ挫折シタルニ依リ爾後所要ノ準備ヲ整ヘタル後陸海軍戦力ヲ統合シテ一舉ニ之ヲ攻略スルニ決シ十月二十四日ヨリ第二師團ヲ中核トシテ總攻撃ヲ開始セシカ是亦遂ニ失敗ニ歸セリ

東部「ニューギニア」方面ニ於テハ南海支隊ハ七月中旬北岸「ブナ」附近ニ上陸シテ南進ヲ開始シ「スタンレー」山系ヲ超ヘテ「ポート」モレスビー」ニ向ヒ進攻中ニシテ九月中旬岡山系頂上ノ線ニ達シ爾

後ノ作戰ヲ準備中ナリシカ制空權ノ喪失ト山地ノ難トニ依リ補給困難ニ陥リ軍命令ニ依リ「クムシ」河右岸ニ後退セシメタリ支那方面ニ於テハ七月初旬浙贛線通作戰ヲ完遂シ同十二日温州ヲ攻撃シテ之ヲ占領ス

ニ「フイジール」「サモア」「ニューカレドニア」作戰ノ中止ト「ポートモレスビー」作戰ノ指導（出所「南東方面作戰記録及手記」）

七月ニ至リ「ミソドウエー」海戦ノ打撃ニ依ル聯合艦隊ノ實狀ハ陸上基地トノ交戦ヲ有利トセザルコト及當時北阿、西亞方面ノ情況トモ關聯シ獨伊ト策應シテ西部印度洋方面ニ於ケル敵増援部隊ノ遮斷及敵艦船ノ撃滅ヲ圖ルヲ以テ有利トスルコト等ノ事情ニ依リ大本營ハ「ニューカレドニア」「フイジール」「サモア」作戰及「ミソドウエー」作戰ノ再興ヲ取止ムルコトニ決シ七月十一日命令ヲ以テ第十七軍ノ任務ヲ變更シ「ニューカレドニア」「フイジール」諸島及「サモア」諸島攻略ノ任務ヲ解除シ海軍ト協同シテ「ポートモレスビー」

ヲ攻略確保スルト共ニ適時東部「ニューギニア」ノ其ノ他ノ要地ヲ
戡定スヘキ新任務ヲ附與セラレタリ

右第十七軍ノ新任務ニ關聯シ作戰要領ヲ左ノ如ク變更セリ

1 作戰目的

「ポートモレスビー」等ノ要地ヲ攻略確保スルト共ニ東部「ニュー
ギニア」一帯ノ敵ヲ掃滅シ「ソロモン」群島ノ利用ト相俟ツテ
珊瑚海ヲ制壓スルニ在リ

2 使用兵力

陸軍第十七軍ノ主力（歩兵約六箇大隊基幹）海軍第八艦隊ヲ基幹
スル部隊 第二十五航空戦隊ヲ基幹トスル部隊

3 作戰要領

- (イ) 成ルヘク速カニ陸軍部隊ノ主力ヲ以テ「ブナ」―「ココダ」道
方面ヨリ「ポートモレスビー」及附近飛行場ヲ攻略ス
- (ロ) 右陸路作戰ノ進捗ニ伴ヒ要スレハ陸軍部隊ノ一部ヲシテ適時海

路ヨリ「ポートモレスビー」附近ニ上陸セシメ陸路作戦ヲ容易
ナラシム

(ハ)海軍ハ「ポートモレスビー」方面航空兵力ヲ撃破スルト共ニ珊瑚
海北部ノ敵艦艇ヲ制壓シテ海路作戦部隊ヲ掩護シ且陸路作戦
ニ密接ニ協力ス

(ニ)「ポートモレスビー」攻略作戦間又ハ攻略後適宜東部「ニュー
ギニヤ」其ノ他ノ要地ヲ占領シ且所要ノ地區ヲ戡定ス 右作戦
ニ於テ島嶼及北海岸要地ノ攻略ハ主トシテ海軍陸戦隊其ノ他ハ
主トシテ陸軍部隊ヲ以テ之ヲ行フモノトス

第十七軍ハ七月中旬頃ヨリ南海支隊ヲ以テ「ブナ」方面ニ上陸シ東
部「ニューギニヤ」作戦ヲ開始セリ

「ガダルカナル」方面作戦ノ發端竝指導（出所「南東作戦記録及手
記」）

南部「ソロモン」方面即チ「ガダルカナル」「ツラギ」等ニ海軍兵

力ノ一部ヲ推進シアルコトニ就キテハ大本營陸軍部ハ何等ノ通報ニ
接シアラサリシ所八月七日此ノ方面ニ敵ノ來攻アリタル事實ニ依リ
始メテ此ノ方面ノ實狀ヲ明ニシ重大關心ヲ抱カザルヲ得サルニ至レ
リ 卽チ同日戰艦一、航空母艦二、巡洋艦十餘隻、驅逐艦多數ニ依
リ護衛セラレタル約三十隻ノ敵ノ輸送船團ハ「ツラギ」及「ガダル
カナル」島ニ上陸シ來リ當時「ツラギ」ニ在リシ海軍陸戰隊數百「
ガダルカナル」ニ在リシ海軍陸戰隊約三百飛行場設定ノ爲人夫約二
千ヲ壓迫シテ「ツラギ」港及「ガダルカナル」海軍飛行場ヲ占領セ
リ
右情報ニ接シタル大本營トシテハ八月十日命令ヲ以テ大宮島ニ待期
中ナリシ一木支隊ヲ「トラツク」ニ到リ第十七軍司令官ノ隷下ニ入
ラシメ又七月二十日第十四軍司令官ノ指揮下ニ入ラシメタル青葉支
隊ヲ第十七軍司令官ノ指揮下ニ復歸セシメ八月十三日第十七軍司令
官ニ依然東部「ニューギニヤ」方面ニ於ケル作戰ヲ遂行スルト共ニ

海軍ト協同シテ「ソロモン」群島ノ要地ヲ奪回スヘキ要旨ノ命令ヲ

下達セリ

右ニ關シ指示セル作戰要領ノ要旨左ノ如シ

1 作戰方針

「ポートモレスビー」攻略作戰ヲ既定計畫ニ基キ速カニ遂行スル
ト共ニ「ソロモン」海戦ノ戦果ヲ利用シ陸海軍協同シテ速カニ「ソ
ロモン」群島ノ要地ヲ奪回ス

2 使用兵力

陸軍 第十七軍（歩兵約十三大隊基幹）

海軍 第八艦隊及第十一航空艦隊ノ大部ヲ基幹トスル部隊竝ニ第

二艦隊及第三艦隊ノ大部ヲ基幹トスル部隊

3 作戰要領

(イ) 「ポートモレスビー」攻略作戰ハ既定計畫ニ基キ速カニ之ヲ遂
行ス

(ロ) 速カニ出發シ得ル第十七軍ノ一部ヲシテ海軍ト協同シ「ガダル
カナル」島所在ノ敵ヲ撃滅シテ同島ノ要地特ニ飛行場ヲ奪回ス
又努メテ速カニ「ツラギ」ヲ攻略奪回ス

(ハ) 前諸項ノ作戰間又ハ其ノ要地攻略間東部「ニューギニヤ」ノ撤
定作戰ヲ行フ

一 本支隊ハ驅逐艦輸送ニ依リ十八日「ガダルカナル」島ニ上陸シ十
日ヨリ攻撃ヲ開始セルモ成功セス敵機約三十同島飛行場ニ進出ス
一 本支隊第二梯團及川口支隊ノ一部ハ二十八日頃上陸ノ餘定ヲ以テ
輸送航行中ナリシカ同日敵機ノ攻撃ヲ受ケ大ナル損害ヲ蒙リ上陸ヲ
二十九日ニ延期シ其ノ後ノ情況明カナラス此ニ於テ大本營ハ八廿二
十九日命令ヲ以テ第十六軍ノ戦闘序列ニ入りテ爪哇ニ在リシ第二師
ヲ第十七軍司令官ノ隷下ニ入ラシメ且第十七軍ノ作戰要領ヲ左ノ
變更シテ「ソロモン」方面ノ奪回作戰ヲ第一義トナス如ク變更

1 作戰方針

陸海軍協同シテ速カニ「ソロモン」群島ノ要地ヲ奪回スルト共ニ「ポートモレスビー」攻略作戰ヲ概ネ既定計畫ニ基キ努メテ速カニ遂行ス

2 使用兵力

陸軍 第十七軍（歩兵第十八大隊基幹）
海軍 變化ナシ

3 作戰要領

(イ) 海軍兵力ハ先ツ其ノ主力ヲ「ソロモン」方面ニ充當シ陸海軍協同シテ速カニ「ガダルカナル」島所在ノ敵ヲ撃滅シテ同島ノ要地特ニ飛行場ヲ奪回ス 又努メテ速カニ「ツラギ」方面ヲ攻略奪回ス

(ロ) 右ノ作戰間速カニ「ラビ」飛行場ヲ占領ス
(ハ) 「ソロモン」群島奪回作戰概成後海軍兵力ヲ「ニューギニア」

方面ニ轉用シ航空部隊ヲ以テ「ニューギニヤ」方面敵航空兵力ヲ撃破シ陸路攻撃部隊ヲシテ「ココダ」方面ヨリ南下セシメ陸海軍協同シテ「ポートモレスビー」附近ニ上陸スル海路作戰部隊ト相策應シテ「ポートモレスビー」附近飛行場群ヲ攻略ス第十七軍ハ輸送ノ關係上「ガダルカナル」島飛行場ニ對シ一木支隊、川口支隊ヲ逐次ニ使用シテ攻撃セシメタルモ何レモ甚大ナル損害ヲ蒙リテ目的ヲ達成セス更ニ青葉支隊ヲ増加シテ九月十二日ヨリ攻撃ヲ開始シ其ノ一部ハ飛行場ニ突入セルモ之亦遂ニ撃退セラレ敵ハ米海兵師團ナルモノノ如ク兵力約一萬ト判斷セラレ尙兵力増加ノ傾向アリ 東部「ニューギニヤ」方面ニ於テハ九月中旬南海支隊約二大隊ノ敵ヲ撃破シテ險難「スタンレー」山系ヲ突破シ山頂ノ線ニ進出シ爾後ノ作戰ヲ準備中ナリ

九月十八日大本營ハ南東方面陸海軍ニ對シ左ノ如ク作戰要領ヲ變更シテ指導ヲナセリ

1 「ヌダルカナル」飛行場ノ攻撃ハ陸軍兵力資材ノ増加ヲ待ツテ陸
海軍共戦力ヲ統合發揮シ一舉ニ奪回スルコト、此ノ間海軍ハ「ソ
ロモン」方面ニ對スル敵ノ増援ヲ阻止スルコト

2 「ポートモレスビー」作戦前陸海軍協同シテ努メテ速カニ「ラビ」
飛行場ヲ占領スルコト

3 海軍ハ「ソロモン」群島及東部「ニューギニヤ」方面ノ飛行場ヲ
更ニ増強整備スルコト

4 「ソロモン」要地奪回作戦及東部「ニューギニヤ」作戦終結後左
ノ外部ノ要地ヲ確保スルコト

「ソロモン」群島ハ「サンクリストバル」島「レンネル」島ヲ含
ム「ルイジャド」諸島「カビ」島「サラマイ」附近「ポートモレ
スビー」附近（「キツド」飛行場ヲ含ム）

狀況ニ依リ更ニ「バツア」灣沿岸要地ヲ占領確保ス

第十七軍ハ「ガダルカナル」島攻撃ニ關スル諸準備ヲ整ヘ十月二十
一

四日ヨリ第二師團ヲ中核トシテ總攻撃ヲ開始セルモ制空權ノ劣勢ノ
輸送ノ困難ニ基ク戦力ノ不足等ニ依リ遂ニ成功セス。東部一帯ニ
ギニヤ方面ニ於テハ南海支隊ノ作戰ハ制空權ノ劣勢ニ基ク補給ノ
不圓滑ノ爲同支隊ハ「スタンレー」山系ニ於テ苦境ニ陥リ軍命令ニ
依リ「クムシ」河右岸ニ後退セシメタリ

四 南方軍ニ對スル處置（出所ト南方軍作戰記録及手記）

1 七月十日第三航空軍ノ戰鬥序列ヲ令シテ南方軍ニ編入セル外軍容
刷新ニ基ク戰鬥序列ノ變更ヲナス

2 八月二十一日南方軍ニ對シ印度東北部ニ對スル作戰（第二十一號
作戰ト呼稱ス）ニ對シ左ノ構想ニ基キ研究準備ヲ指示ス

(イ) 作戰目的

「アツサム」州東北部ノ要域及「チタゴン」附近ヲ攻略確保シ
テ航空作戰ヲ容易ナラシムルト共ニ援蔣航空路ノ遮斷ニ努ム

(ロ) 使用兵力

第十五軍ノ約半部

(ハ) 時期

十月中旬以後ト豫定スルモ作戰ノ發起ハ別命ス

3 十月十五日南方軍ニ命令シ一部ノ兵力ヲ以テ小「スンダ」列島方面ノ要地ヲ確保シ同方面ノ防衛ヲ強化セシム

支那派遣軍ニ對スル處置（出所ノ起案擔任者手記）

1 七月二十八日支那派遣軍ニ對シ浙江省方面ノ作戰終了後金華附近ノ要域確保ヲ命ス

2 第一章第三節ニ既述ノ如ク四月上旬支那派遣軍ニ奧地進攻作戰ノ實施ニ關シ研究ヲ冀望スル所ナリシカ成案ヲ得タルヲ以テ九月三日同軍ニ對シ重慶ニ對スル作戰（五號作戰ト呼稱ス）準備ニ關シ命令ヲ與フ該作戰ハ九月ヨリ一部ノ準備ニ著手シ本年秋頃ノ情勢ヲ見テ其ノ作戰ヲ實施スヘキヤ否ヤヲ決定シ實施ノ場合ハ更ニ本格的準備ヲ完成シタル後昭和十八年春季以降ニ之カ發動ヲ豫定ス

一三

六 關東軍ニ對スル處置（出所一五ニ同シ）

七月四日第一方面軍、第二方面軍、第二軍、機甲軍ノ編組ヲ令シ之

ヲ關東軍ノ編組ニ入ラシム

七 北邊ノ防衛強化ニ關スル處置（出所一五ニ同シ）

1 九月二十三日北部軍ニ命令シ一部ノ部隊ヲ一時中部千島列島ニ派遣シ守備ヲ強化セシム

2 十月二十日北部軍ニ命令シ北千島要塞歩兵ノ一部ヲ第五艦隊司令長官ノ指揮下ニ入ラシメ速カニ「アツツ」島附近ノ要地ヲ占領確保セシム

3 十月二十四日北海支隊ヲ戦闘序列ヲ解キ北海守備隊ノ戦闘序列（歩兵三大隊ト一要塞歩兵隊主力基幹）ヲ令シ北海守備隊ヲシテ第五艦隊司令長官ノ指揮下ニ入り「アリュウシヤン」列島ノ要地ヲ占領確保セシム

第二節 昭和十七年十一月 十二月ニ於ケル指導

一 全般ノ戰況

本期間南東方面ヲ除ク大東亞ノ全域ハ概シテ平穩ニ經過セルモ南東方面ノミハ「ガダルカナル」島ノ奪回準備ニ伴フ海上輸送ニ關聯シテ海軍航空部隊ヲ以テスル激烈ナル航空戰並海上艦艇ニ依ル大小ノ會戰連續シ明カニ消耗戰ノ死闘ヲ繰リ返スニ至レリ

十一月十四日「ガダルカナル」島作戰準備ノ爲ノ兵力軍需品ヲ搭載セル輸送船約十隻ヨリナル一船團ハ海軍護衛ノ下ニ強行輸送ヲ試ミタルモ此ノ頃彼我艦隊ノ間ニ激烈ナル海戰ヲ展開シテ艦隊ノ掩護行動至難ニ陥リ我カ船團ハ殆ント全部損害ヲ蒙リテ目的ヲ達成セス小型舟艇ヲ以テスル輸送亦概ネ成功ヲ見ス「ガダルカナル」島ニ對スル補給輸送ノ繼續ハ絶望ニ近キ状態ニ陥レリ

二 南東方面ニ對スル指導（出所―手記並ニ記憶並南東作戰記錄）

1 情勢判断ト之ニ伴フ處置

十月下旬一ガダルカナル島ニ對スル第十七軍ノ攻勢失敗後大本營ハ情勢ヲ左ノ如ク判斷セリ

敵ノ反攻方面トシテハ支那、印度洋、南西太平洋、南東太平洋、北東方面等ヲ豫期スヘク何レモ漸次反攻ノ氣勢ヲ示スニ至レリ此等各方面ヨリノ攻勢ニ對シテハ夫々對應ノ處置ヲ要スルモ其ノ內在支米空軍ノ活動ハ機材燃料ノ補給及基地ノ狀況等ニ依リ相當ノ制肘ヲ受クルヲ以テ急速ニハ大規模ナル攻撃ヲ行フニ至ラサルモノト認メラル又「アリュシャン」群島方面ヨリスル反攻ハ同方面ノ天象、海象等ノ制肘ヲ受ケ三、四、五月及九、十月ノ時期以外ハ大部隊ヲ以テスル作戰ハ困難ナルヘシ然ルニ南太平洋方面ヨリスル米ノ對日反攻ハ濠洲及其ノ周邊ノ島嶼竝ニ米濠間ヲ連絡スル一連ノ島嶼基地ヲ利用シテ陸海空ノ大兵力ヲ進出展開セシムルコト可能ニシテ又此ノ方面ヨリ我カ南方占領地域ノ奪回、南洋群島ノ攻略及重要資源地帯ノ空襲破壊ヲ企圖スルト共ニ西太平洋ニ

於ケル我制海權ヲ脅威スルコト最モ容易ナルヲ以テ敵ハ其ノ兵力ノ整備、展開ヲ俟テ逐次此ノ方面ニ主攻撃ヲ指向シテ本格的反攻ニ出ツル公算大ナルモノト判断ス即チ同方面ニ於テ戰略要點ノ爭奪ヲ繞リ勢ヒ日、米間ノ決戦ニ迄進展スルコトアルヲ豫期セサルヘカラス

右ノ判断ノ下ニ大本營ハ南太平洋方面就中「ソロモン」群島方面ノ作戰完遂ノ爲該方面作戰軍ノ統帥組織ノ確立ト兵力ノ増強トヲ企圖スル所アリ即チ「ソロモン」「ニューギニア」等ノ南太平洋方面ノ陸軍作戰全般ヲ統率スル第八方面軍ヲ設ケ其ノ隸下ニ第十七軍ト新設ノ第十八軍トヲ置キ第十七軍ヲシテ「ソロモン」方面ノ作戰ヲ第十八軍ヲシテ「ニューギニア」方面ノ作戰ヲ擔當セシムルト共ニ「ガダルカナル」島ノ攻撃再興ニ方リ新々ニ第六師團及所要ノ軍直部隊ヲ増加シ又陸軍航空部隊ヲ派遣ス

右ノ外「ニューギニア」方面ヲ含ム南太平洋全作戰完遂ノ爲ニハ

更ニ數ヶ師團ノ兵力増加ヲ必要トスヘキヲ以テ明年度ニ互ル國軍
全般作戰其ノ他ヲ考慮檢討ノ後之カ成案ヲ得ルコトトセリ

2 第十七軍ニ對スル指導

第十七軍ノ「ガダルカナル」島ニ於ケル十月二十四日ノ攻勢失敗
ニ歸シタル以後大本營ハ銳意之カ戦力恢復ニ努力シ爾後ニ於ケル
劃期的戦力向上ノ手段トシテ十一月中旬約十隻ノ優秀船ヲ以テス
ル船團輸送ヲ決行セシカ十四日敵航空部隊ノ攻撃ニ依リ其ノ殆シ
ト全部ヲ撃沈セラレ爾後ノ補給輸送ノ目途立タサルニ至レルヲ以
テ大本營ハ第八方面軍ヲ以テスル更ニ大規模ナル作戰準備進捗ス
ル迄第十七軍ヲシテ現在ノ態勢ヲ保持セシムルニ決シ十一月十五
日左ノ如キ指導ヲナセリ

南太平洋方面全般ノ攻勢作戰準備就中航空作戰準備ノ間ニ於テハ
「ソロモン」群島及「ニューギニア」方面共ニ現在地附近ノ要地
ヲ確保シテ爾後ノ作戰ヲ準備ス之カ爲「ガダルカナル」島ニ於テ

ハ現在地附近ノ要地ヲ又「ニューギニヤ」方面ニ於テハ少クモ「ラ
エ」「サラモア」及「ブナ」附近ノ要地ヲ確保ス又萬難ヲ排シテ
「ソロモン」群島方面ニ於ケル航空基地ヲ設定ス

3 第八方面軍ノ設置

大本營ハ十一月十六日第八方面軍、第十七軍（第二、第三十八、
第五十一師團基幹）第十八軍（南海支隊及歩兵第四十一聯隊基幹）
ノ戦闘序列ヲ令シ十八日第八方面軍司令官ニ對シ大本營ハ大東亞
戦争完遂ノ爲南太平洋方面ニ於ケル優位ノ戰勢ノ確立ヲ企圖スル
ヲ以テ第八方面軍司令官ハ海軍ト協同シ先ツ「ソロモン」群島ヲ
攻略スルト共ニ「ニューギニヤ」ノ要地ヲ確保シテ同方面ニ於ケル
ル爾後ノ作戰ヲ準備スヘキ旨ノ命令ヲ下達シ海軍ハ聯合艦隊ノ大
部ヲ以テ此ノ方面ノ作戰ニ協力スルコトナレリ
右ト同時ニ指示セル作戰要領ノ要旨左ノ如シ

(イ) 作戰方針

陸海軍協同シテ先ツ速カニ「ソロモン」方面ノ敵航空勢力ヲ制
壓スルト共ニ「ガダルカナル」方面ノ作戰準備ヲ促進擴充シ其
ノ完成ヲ待ツテ同島飛行場ヲ奪回シ敵ヲ殲滅ス又努メテ速カニ
「ツラギ」其ノ他ノ「ソロモン」群島ノ要地ヲ攻略ス
右作戰間陸海軍協同シテ「ニューギニヤ」ノ要地ヲ確保シ同方
面ニ於ケル爾後ノ作戰ヲ準備ス

(ロ) 作戰指導要領

(1) 「ガダルカナル」島ニ於ケル攻撃據點ヲ確保シ戦力ノ強化ヲ
圖リ又陸海軍協同シテ各種ノ手段ニ依ル敵機ノ活動封止ニ努
ムルト共ニ各要地ノ防備特ニ防空ヲ強化シ且十二月中旬末ヲ
目途トシテ所要ノ飛行場ヲ急速ニ設定整備ス
右飛行場整備ニ伴ヒ適時「ガダルカナル」方面ノ敵航空勢力
ヲ制壓シ其ノ機ニ投シテ一舉ニ攻撃兵力及軍需品ヲ強行輸送
シ作戰準備ヲ擴充シテ一月中旬末ヲ目途ニ攻撃準備ノ完成ヲ

期ス

(2) 右準備ノ完成後努メテ速カニ攻撃ヲ開始シ敵飛行場及其ノ西方

方地區ニ陸海空各種ノ戦力ヲ統合發擡シ敵陣地ヲ突破シテ飛行場ヲ攻略シ且敵ヲ殲滅ス又努メテ速カニ「ツラギ」其ノ他

ノ「ソロモン」群島ノ要地ヲ攻略ス

(3) 「ニューギニヤ」方面ニ在リテハ右ノ作戰間海軍ト協同シテ

「ラエ」 「サラモア」及「ブナ」附近ニ堅實ナル作戰據點ヲ

確保シ且「ニューブリテン」島及「ニューギニヤ」ニ作戰及

連絡飛行場ヲ増設整備シテ航空作戰ヲ強化シ爾後ノ作戰ヲ準

備ス

4 航空兵力ノ増加

大本營ハ十一月二十七日第六飛行師團ノ編合ヲ令シ第六飛行師團

長ヲシテ第八方面軍司令官隷下ノ航空部隊ヲ統一指揮セシメタリ

5 「ソロモン」方面作戰要領ノ變更

「ガダルカナル」島方面ニ於テハ優勢ナル敵ノ制空權下ニ於テ驅逐艦其ノ他ノ小型船輸送モ極メテ困難ナル情勢ニ立至ラントシ補給ノ逼迫眞ニ深刻トナリ第一線ニ於ケル彼我ノ戦力ハ逐日懸隔ヲ増加シツツアリ

此ノ頃第八方面軍ハ既述ノ作戰要領ニ基キ南部「ソロモン」群島要地ノ奪回準備ノ爲「ガダルカナル」島ニ對スル輸送ノ實現ヲ企圖セルモ敵海空ノ勢力更ニ増加ノ傾向アルニ比シ「ソロモン」群島ニ於ケル我航空基地ノ設定困難ニシテ我海軍ハ常ニ海空ノ苦戦ヲ續ケツツアリ此ノ情況ニ於テ大本營カ飽ク迄既定計畫ノ作戰ヲ遂行スルカ爲ニハ新ニ約三十萬噸ノ船舶ヲ徵用スルヲ要シ此ノ事自体國力ニ及ホス影響輕視ツ許サストシテ政府ノ同意ヲ得ル能ハサル所今後更ニ蒙ルヘキ損害ノ累積特ニ船舶ノ損耗ハ國家物動面ニ重大ナル影響ヲ與ヘ全局上憂慮セララルノミナラス第一線ニ於ケル消耗戦ニ對スル新銳戦力ノ注入ハ率イテ後方要地ノ防衛ヲ饜

牲ニ供セサルヘカテサルニ至ル杞憂大ナルモノアルニ至レリ
此ニ於テ大本營ハ十二月三十一日南部「ソロモン」奪回ノ企圖ヲ
拋棄シ第八方面軍ヲシテ「ガダルカナル」島ニ於ケル現戰線ヲ整
理シテ後方ノ要線ヲ占領シ爾後ノ作戰ヲ準備セシムルニ決セリ之
ヨリ發十二月二十一日大本營ハ第八方面軍ノ戰鬪序列ヲ變更シ第
四十一師團及獨立混成第二十一旅團ヲ第八方面軍ニ第六師團及第
二十師團ヲ第十七軍ニ又第五十一師團ヲ第十八軍ニ夫々編入セリ
南東方面敵反攻ノ影響（出所トニ同シ）

「ソロモン」方面戰況激化ノ影響トシテ同方面ニ我陸海軍ノ兵力ヲ
吸收シ船舶、軍需品ノ損害ヲ著シク増加セルゴトハ國家物動並全軍
的戰力ニ尠カラサル惡影響ヲ與ヘテ他方面ニ於ケル積極的行動ヲ拘
束シ且又此ノ方面ノ作戰ノ敎訓トシテ他方面ノ防衛強化ノ手段ヲ講
スルヲ要スルニ至レルヲ以テ大本營ハ左ノ如ク處置スル所アリタリ
11月中旬印度支那駐屯軍司令部ヲ新設シ第五師團ノ内地歸還ヲ

中止シテ佛印及南部太平洋ノ防衛強化ヲ圖レリ

2 十二月十日支那派遣軍ニ對シ五號作戰準備ノ中止ヲ指示セリ

3 十二月下旬南方軍ニ對シ二十一號作戰ノ爲ノ兵團ノ移動軍需品ノ集積等ハ別ニ指示スル迄之ヲ實施セサル如ク指示セリ

4 印度及印度洋方面ノ我カ海軍ノ航空部隊、水上部隊竝ニ陸軍航空部隊ノ一部ヲ太平洋方面ニ轉用シ且對印度航空進攻作戰ヲ中止ス

ル等ノ爲南西方面ノ防衛上困難ヲ増加スルニ至ルヘキヲ豫期シ防衛上強化策ヲ採ルノ必要ヲ認メ印緬國境、「アングマン」「ニコバ

バル」諸島、「スマトラ」、爪哇等ノ各要點ニ對シ築城施設ヲ實施スルノ外所屬ノ兵力ヲ増加シ印度洋方面ニ對スル海上哨戒ハ陸

軍航空部隊海軍ニ代リテ之ヲ擔當シ又緬甸ニ新ニ緬甸方面軍司令部ヲ設置シテ此ノ方面ノ統率力ノ強化ヲ圖ル等ノ處置ヲ講セリ

5 小「スング」列島、「ダンニンバル」「アル」諸島及西部「ニューギニヤ」方面ハ濠洲ニ近ク且防衛上ノ弱點ヲ成形スルヲ以テ之カ

強化ヲ圖ル爲大本營ヲ指導ニ依リ南方軍ハ第四十八師團ヲ爪哇ヨ
リ「チモール」島及「スンバ」島ニ又第五師團ヲ馬來ヨリ「タン
ニンバル」島「アル」島方面ニ轉用セリ
又「チモール」及西部「ニューギニヤ」方面ニ第十九軍司令部ヲ
設置シテ此ノ方面ノ防衛ヲ強化スルト共ニ之ニ伴ツテ爪哇ニ在ル
第十六軍ノ防衛擔任正面ヲ縮少セリ

6 比律賓治安ノ實績良好オラサルハ明年以後敵ノ此ノ方面ニ對スル
反攻ヲ考察スルトキ輕視ヲ許ササル所ナルヲ以テ明年迄ニ徹底的
肅正ヲ期スルコトトシ之ニ開聯シテ獨立守備隊一隊ヲ新設セリ